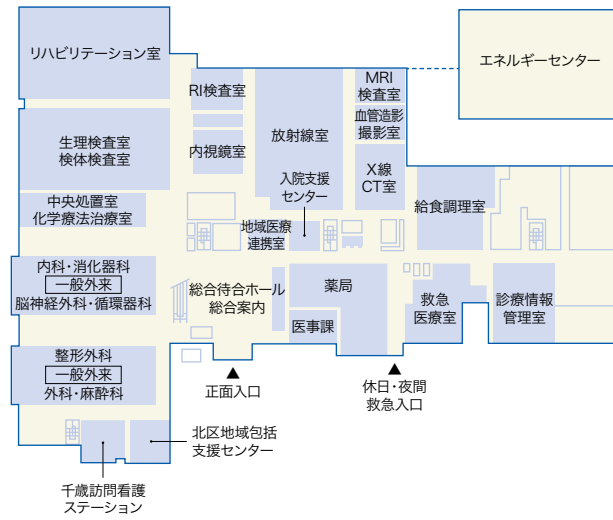


フロアマップ

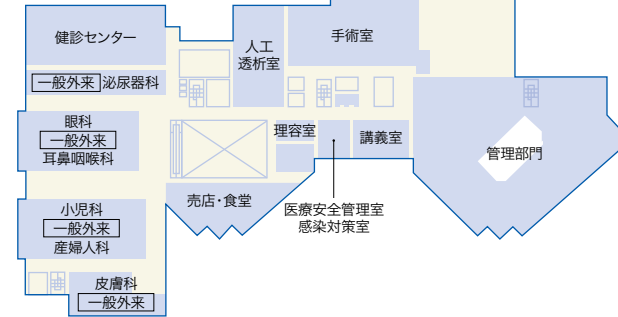
1F



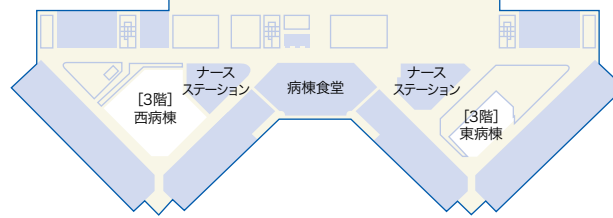
当院は館内・敷地内全面禁煙(加熱式タバコ及び電子タバコも含む)となっております。皆様のご理解とご協力を、お願いいたします。



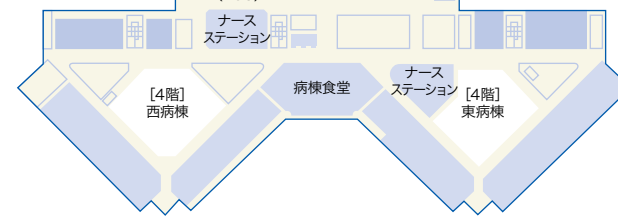
2F



3F



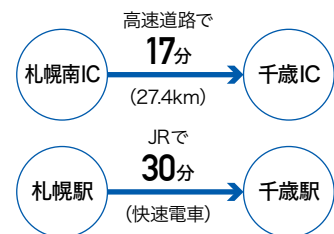
4F



アクセス



札幌からのアクセス



〈お車でお越しの場合〉

- ・道央自動車道千歳インターチェンジから約7km(所要時間約10分)
- ・新千歳空港から約10km(所要時間約15分)
- ・JR千歳駅から約2.5km(所要時間約5分)

〈公共交通機関でお越しの場合〉

- JR千歳駅で降車
- JR千歳駅バスターミナルから
- ・【千歳相互バス】①番のりば(泉沢市民病院線)
- ・【中央バス】②番のりば(桜木線、稲穂団地線、みどり台線)
- ※所要時間は約10分です。

市立千歳市民病院
CHITOSE CITY HOSPITAL

〒066-8550 北海道千歳市北光2丁目1番1号
電話 0123-24-3000 FAX 0123-24-3005

<https://chitose-shimin-hospital.jp/>

市立千歳市民病院



市立千歳市民病院
CHITOSE CITY HOSPITAL

市民とともに

With Citizens



病院理念

より質の高い 心あたたまる医療の実現

私たちは、医療への信頼と質の向上に努め、
医療を通じて地域の皆様に安心と安全を提供します。

6つの基本方針

病院理念を達成するために、次の基本方針を実行します。
全職員が主体的に参画し、実現に努めています。

- 1 患者様の人権を尊重し、十分な説明と同意のもとに安全で良質な医療をめざします。
- 2 地域の基幹病院として医療機関との連携を促進し、地域医療の向上に努め、地域住民の健康維持に貢献します。
- 3 救急医療と小児医療及び周産期医療の充実を図り、地域住民が安心できる医療を提供します。
- 4 自治体病院として公共性を保ち、効率的な病院経営に努めます。
- 5 職員は専門職としての誇りと目標を持ち、常に研鑽して知識と技術の向上に励み、チーム医療を推進します。
- 6 働きがいのある職場として環境を整備し、明るい病院づくりをめざします。

主な取組

医療体制

診療機能の充実

▶ P4

急性期医療中心の診療を行っており、地域のニーズや患者さんの様々な症状に対応できるように診療機能の充実に努めています。

チーム医療の推進

▶ P4

患者さん中心の医療の実現を目指し、複数の医療専門職が連携する環境をつくることで、チーム医療の推進を図っています。

救急医療の充実

▶ P4

各医療機関との役割分担や相互連携しながら救急医療体制の充実に努め、迅速かつ適切な医療を提供できるよう取り組んでいます。

職員の資質向上

▶ P4

各種学会認定医、専門医、指導医の資格取得や更新費用の助成を行うなど、手厚い支援を行うことで病院全体の医療の質の向上を図っています。

看護部

特色

▶ P6

当院の看護部には、「認定看護師」や「災害支援ナース」の活動、「助産外来」や「がん看護外来」などの専門外来の取組等の特色があります。

人材育成

▶ P6

看護部では自己成長ができる看護者の育成に努めており、看護者全員のスキルアップをサポートすることで看護のプロフェッショナルを育成しています。

地域とのつながり

地域医療連携

▶ P8

地域の医療機関との連携を円滑に行うことで、地域の皆様が安心して生活できるように努めています。

ちえネット

▶ P8

同意を得た患者さんの診療情報を地域の医療機関と共有するシステムを活用し、地域全体で患者さんを見守るネットワークづくりに取り組んでいます。

市民健康講座

▶ P8

健康に関する様々な情報を当院から提供することで、市民の皆様の健康に対する意識の向上を目指しています。

災害に対する機能

▶ P8

災害への訓練や研修などを定期的実施することによって、災害時にも適確な医療を提供できるよう病院機能の強化に取り組んでいます。

勤務環境

勤務環境の充実

▶ P9

働き方改革の推進や院内保育所の設置などを通じて、医療従事者が働きやすい勤務環境の整備に努めています。



医療の質の向上

病院職員は常に研鑽して知識と技術の向上に励み、病院全体の医療の質の向上を図っています。

当院は、「より質の高い心あたたまる医療の実現」という理念のもと、千歳や恵庭、安平、由仁などを含む地域の基幹病院として、救急・高度医療をはじめ、小児・周産期医療の中核的な役割を担っています。この役割を果たすために、当院では医療への信頼と質の向上に努めるとともに、地域の皆様に安心と安全を提供し、一人でも多くの患者さんに満足いただけるよう努めています。

診療機能の充実

地域の基幹病院である当院では、13科目の診療科（内科・循環器科・消化器科・小児科・外科・脳神経外科・整形外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・麻酔科）を開設し、急性期医療中心の診療を行っています。さらに、高機能なマンモグラフィによる乳がん検診等に対応した健診センター、充実した透析環境を整えた人工透析室、入院支援センターのほか、地域包括ケア病床や緩和ケア病床、禁煙外来、フットケア外来、ストーマケア外来、助産外来などの開設・運用により、地域のニーズや患者さんの様々な症状に対応できるよう診療機能の充実に努めています。

チーム医療の推進

患者さんのニーズに対し、きめ細かく的確に対応するために、診療においては様々な職種がチームとして最適な医療を提供することが重要です。当院では、多職種によるカンファレンスのほか、「栄養サポートチーム」や「緩和ケアチーム」などを設置することによって複数の医療専門職が連携する環境をつくり、チーム医療の推進を図っています。職員が一丸となってチーム医療の推進に積極的に取り組むことにより、患者さん中心の医療の実現を目指しています。

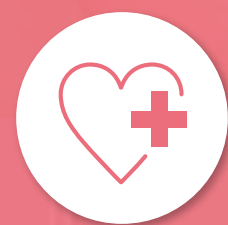
救急医療の充実

市内最大の救急告示病院である当院は、地域における1次・2次救急医療体制の一翼を担っており、各医療機関との役割分担や相互連携をしながら、救急医療体制の充実に努めています。また、消防機関と合同で研修会を開催して連携を強化するなど、突然の発症等で救急搬送される患者さんに対して迅速かつ適切な医療を提供できるよう取り組んでいます。

職員の資質向上

医療技術は日々進歩しており、医療職は常に新たな技術や知識を習得しなければなりません。当院では、「医療職等のキャリアアップ支援」を重点施策に掲げて取り組んでおり、医師については、各種学会への参加費用や研究発表の実績に対する調査研究手当を支給しているほか、各種学会認定医、専門医、指導医の資格取得や更新費用の助成を行うなど、手厚い支援を行っています。職員のキャリアアップやスキルアップを積極的に支援することにより、病院全体の医療の質の向上を図っています。





看護理念

わたくしたちはいつも誠実に、より専門的な知識と技術で、安心できる看護を行います。

看護方針

- 1 患者様の個別性を尊重した計画的な看護を行います
- 2 的確に看護判断し、実施した行為に関して責任を持ちます
- 3 倫理的課題に対して、看護者として自律した意見を持ち行動します
- 4 看護のテクニカルスキルとヒューマンスキルを高めます

看護部では、患者さんご家族の気持ちを誠実に受けとめ、安心して入院・在宅療養を送ることができるよう、専門性の高い知識と技術による看護を実践しています。そのために日々進化する医療知識や看護スキルを積極的に学べる教育環境を整えています。また、当院は地域の基幹病院であり、認定看護師をはじめとする看護者が各医療施設との連携を深めるなど、地域のニーズに貢献できるよう努めています。

特色

- 各専門分野の「認定看護師」が、看護現場における看護ケアの広がりや看護の質の向上を目指し、院内スタッフへの教育や地域に向けた啓発活動などを積極的に行っています。
- 「助産外来」や「がん看護外来」などの専門外来では、看護者が医師と連携しながら専門性の高い業務に取り組んでいます。
- 当院には「災害支援ナース」が多く在籍しており、これまでに東日本大震災や北海道胆振東部地震での派遣実績があるなど、災害看護に力を入れています。

人材育成

患者さんご家族に満足いただける看護を提供するためには、看護者の適切な育成が必要です。看護部では、各自で個人目標を定めて自己管理を行うとともに、「クリニカルラダー」を導入して看護実践することで、自己成長ができる看護者の育成に努めています。また、最新の知識やスキルを習得するため、看護協会をはじめとする各種研修会への参加を積極的に支援するなど、看護者全員のスキルアップを手厚くサポートすることで看護のプロフェッショナルを育成しています。

キャリアアップ

当院では、キャリアアップを目指す看護者を積極的に支援しています。充実した資格取得助成制度により、認定看護師資格や助産師資格などの取得費用と更新費用を助成しているほか、学会参加費用等の助成も行っています。これらの制度を活用してキャリアアップし、それぞれの専門分野で活躍する看護者が年々増えています。

看護体制

- 看護単位：8単位
第一外来・第二外来・救急外来・手術室
3階東病棟・3階西病棟・4階東病棟・4階西病棟
- 看護配置：7対1
- 固定チーム継続受持ち制
- 3交代または2交代制





医療を通じ、安心できる地域社会を実現

地域の皆様が安心して生活できるために、当院では様々な取組を行っています。



医療や介護の需要がさらに高まる超高齢化社会の現在では、質の高い医療を効率よく提供するため、これまでの「病院完結型医療」から、地域全体で治し支える「地域完結型医療」への転換が求められています。また、患者さんが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・生活支援などが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。

これらを踏まえ、当院では地域の医療機関等との機能分化・連携強化に努め、住民の皆様が安心して生活できる地域社会の実現を目指しています。

地域医療連携

当院では、地域の医療機関等の皆様との連携強化について積極的に取り組んでいます。高度な治療が必要となった患者さんを各医療機関から紹介いただき、また、症状の安定した患者さんを各医療機関へ紹介するなど、「紹介・逆紹介」を推進することにより、地域医療機関との機能分化を進めています。地域医療連携課では、医療機関等との連携を円滑かつ効果的に行うことに努め、地域全体の医療の質の向上を目指しています。

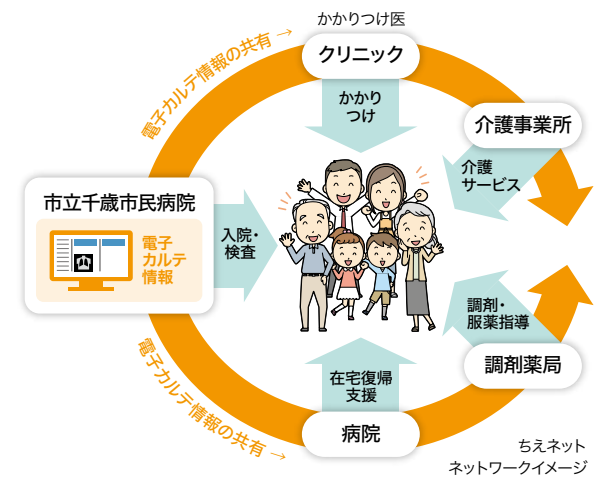


医療介護連携ネットワーク『ちえネット』



『ちえネット』は、地域の医療機関や調剤薬局、介護事業所などがインターネットを介したネットワークシステムにより、当院の患者さんの電子カルテ情報を共有するシステムです。1人の患者さんについて複数の施設が同一の情報をもとに診療等を行うことにより、地域全体で質の高いサービスを切れ目なく提供することが可能となります。『ちえネット』は地域全体で患者さんを見守るネットワークづくりを目指しています。

※共有するのは事前に同意を得た患者さんの情報に限ります。



市民健康講座

当院では、市民の皆様の健康推進、疾病予防の一環として、「市民健康講座」を開催しています。市民の皆様の「健康」に対する意識の向上を目指し、各診療科の医師や看護師、専門職員から健康に関する様々な情報を提供しています。



災害に対する機能

当院では、災害時における地域の医療拠点として機能強化に積極的に取り組んでおり、平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震にも迅速かつ適切に対応してきました。院内に、当院の災害対応方針を決定する「災害対策委員会」をはじめ、「訓練・防災マニュアル部会」、「BCP（業務継続計画）部会」を設置し、定期的かつ体系的に院内体制の充実に努めるほか、災害関連学会や各種研修会へ積極的に参加しています。さらに、日頃から部門ごとに災害時に備えた訓練を実施しているほか、市・消防・自衛隊・警察と連携した大規模な災害対応訓練の実施や、新千歳空港で行われる航空機事故対応訓練にも参加するなど、災害時にも地域の皆様へ適確な医療を提供できるよう病院機能の強化を図っています。





勤務環境の充実 ～働きやすい職場～

働き方改革

有給休暇取得率の向上や労働時間の適正化など「働き方改革」に取り組むことで、職員それぞれの事情に合った「ワーク・ライフ・バランス」の実現を目指し、勤務環境の改善を図っています。

医師の負担軽減策

医師が本来の診療業務に専念できるよう、医師事務作業補助者の配置などの負担軽減策について積極的に取り組んでいます。

院内保育所

病院職員の皆さんが子育てをしながら安心して働くことができるよう、夜間・休日などにも対応した院内保育所を設けています。

医師住宅

病院敷地内や近郊に医師用の住宅を用意しています。民間の賃貸住宅を借り上げて貸与することも可能です。



■ 病院概要

病床数	190床
診療科	13科 内科・循環器科・消化器科・小児科・外科・脳神経外科・整形外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・麻酔科
部門	薬局・放射線科・臨床検査科・臨床工学科・リハビリテーション科・栄養管理科・地域医療連携室・入院支援センター・健診センター・医療安全管理室・感染対策室・看護部・救急外来・手術室・事務局
建物	鉄骨鉄筋コンクリート (SRC) 造4階建 ※免震構造 敷地面積：33,120㎡ 延床面積：18,755㎡
駐車場	約560台 (外来用：330台、職員用：230台)
附属施設	院内保育所・医療従事者住宅
院内関連施設	千歳訪問看護ステーション・北区地域包括支援センター



■ 沿革

1947年 1月	日本医療団千歳病院として開院	2005年 4月	地域医療連携室設置
1948年 8月	道立千歳病院となる	2006年 12月	病院機能評価 (Ver.5) 認証取得
1967年 4月	千歳市立病院となる (内科・外科・小児科・産婦人科・整形外科・耳鼻咽喉科)	2008年 7月	7対1入院基本料施設基準取得
8月	救急病院告示承認	2009年 3月	電子カルテシステム導入
1972年 5月	眼科・皮膚科・泌尿器科開設	4月	DPC (診断群分類包括評価) 導入
1976年 3月	千歳市立総合病院に改称	2012年 1月	病院機能評価 (Ver.6) 認証取得
1990年 4月	麻酔科開設	2013年 4月	医療安全管理室・感染対策室設置
2001年 10月	脳神経外科開設	7月	助産外来開設
2002年 9月	新築移転 市立千歳市民病院に改称 循環器科開設	2017年 2月	病院機能評価 (3rdG:Ver.1.1) 認証取得
2003年 10月	消化器科開設	3月	地域包括ケア病床開設
		7月	千歳市地域連携ネットワークシステム「ちえネット」運用開始
		2019年 6月	入院支援センター開設
		10月	緩和ケア病床開設



当院は、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 (3rdG:Ver.1.1) の認定を受けています。